

第25回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式  
校長式辞

正門の桜の木には、じっと春を待つ「つぼみ」がついています。

本校高等部を卒業されます106名の皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝いします。新型コロナウイルス感染症の広がり不安の中、保護者の皆様方と共に高等部卒業証書授与式を行うことができ安堵しています。残念ながら、皆さんと一緒に学校生活を送ってきた在校生の出席は叶いませんでした。皆さんを応援してきてくださったお客様、御来賓の方々も御臨席いただくことができませんでした。この会場には来られませんが、皆さんの晴れの門出をお祝いして下さるたくさんの方々が応援団がおられます。皆さんをいつも熱く応援して下さっています。

応援団と言えば、皆さんのお父さん、お母さんをはじめ御家族、施設の皆様です。皆さんの卒業を誰よりも喜んでおられることでしょう。皆さんがこの世に生まれて以来これまで、かけがえのない我が子として深い愛情をもって育ててこられました。皆さんの尊い命を守ってこられました。感謝いたしましょう。お父さん、お母さん、施設の方々、ありがとうございました。

ここで、保護者、御家族の皆様、施設の皆様にお礼を申し上げます。お子様の御卒業、誠におめでとうございます。これまでの子育ての御労苦に敬意を表しますとともに、本校の教育に御理解と御協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。卒業されても教職員一同、卒業生を温かく見守っていく所存です。どうか今後とも御支援を賜りますようお願いいたします。

さて、卒業生の皆さんに授与しました卒業証書についてお話します。この卒業証書は、皆さんの先輩が事業所で制作してくださいました。また、この卒業証書は、平和公園にある原爆の子の像に日本はもとより世界から来られた方々が捧げられたおりづるの再生紙でできています。平和を願う私たちの想いが込められています。そして、高等部3年間、皆さんが目標に向かって一生懸命頑張ってきた証なのです。

皆さんが学んでこられた本校での3年間のあゆみを少し振り返ってみます。高等部第1学年。新しい仲間、友達、新しい環境で緊張し不安だった3年前。宿泊研修での様々な体験を通して仲間、友達のことを助け合ったり思いやったりする姿を見ました。絆の深まりを感じました。高等部第2学年。修学旅行で広島駅に帰ってきた時の皆さんの顔がとても輝いていたことを思い出します。立派にやり遂げ、自信にあふれている表情を見ました。高等部第3学年。体育祭の「ソーラン節」でもっている力を最大限発揮しようと、懸命に踊る姿に感動しました。文化祭。ステージでの発表が見事だったこと。店出で、製品が完売して誇らしげな顔。一人一人の成長を見ました。

これから始まる新たな人生。不安でときどきしていることでしょう。「明るく 元気に たくましく」を目標に取り組んできたこの3年間です。大丈夫です。勇気をもってチャレンジしてってください。本校の「令和」初の記念すべき卒業生の皆さん、皆さんの活躍をいつまでも応援しています。

令和2年3月6日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行